QA 11

問 旧庁舎解体（6月以降）後の予定は

答 優先すべき課題後に検討する

旧庁舎

小川智也議員

町長の任期はあと約2年で、任期中に移転・解体を判断したが次の一手は。また物理的に新庁舎を建てることは可能なのか。

▽岩﨑憲郎町長

任期を考えてではなく、長期にわたり町の将来を見据え、今何をすべきかということを考えている。物理的な面についてはまだ検討していないが、仮庁舎で良いわけはない。1日も早くしっかりとした庁舎をつくることが住民生活の安心安全・地域産業振興につながるが、庁舎よりも優先すべき課題がある。

QA 12

問 ゴールデンウィークの対応は

答 宿日直にて対応する

▽小川智也議員

ごみの収集体制、町内の病院、放課後子ども教室、保育所はどうなるのか。会社勤めの方で10連休の人ばかりではないということは重々承知のはず。

国はこの10連休に限り保育所に補助金を加算し、放課後子ども教室は、助成金制度はないが各自治体に対応を委ねるという方針である。

保護者に対してアンケートを取り、必要性の有無を問うべきではないか。

▽岩﨑憲郎町長

通常の休祝日の対応であり、ごみについては、大豊町ごみカレンダーのとおり収集する。

池添修一
教育長

保育所は大豊町立保育所規則第9条の規定に基づき日祝日は休日。休祝日は子どもと一緒にいるのが1番良いと考える。放課後子ども教室も同様、従来通り土日祝日は休み。（夏休み、冬休み、春休みは別）臨時委員会を開いた結果、保護者アンケートは実施しない。

QA 13

問 ゆとりすと放送の住民周知と進捗状況は

答 加入率100％を目指す

▽小川智也議員

説明会に行けない、新サービスを知らない、新ゆとりすと放送は電話線がないと設置できないと勘違いされている方等に対しどのように対応していくのか。

▽岩﨑憲郎町長

広報誌、パンフレットにより理解を促すとともに説明会を開催するなど、さまざまな形で周知を行ってきた。現在、新ゆとりすと放送申込状況は約88％であるが、さらなる周知に努め、100％を目指す。

▽小川智也議員

各サービスは本町に住民票がある方対象で、住民票が無い方への対応は。

▽岩﨑憲郎町長

このサービスは、基本的には大豊町民に対するサービスである。

▽小川智也議員

議会放送は中継でしか聞けない。以前から平日昼間働いている方は、中継を聞くのは困難である。これを解消するために議会を録音し、通常の放送と同様にいつでも聞けるようにすることはできないのか。

▽岩﨑憲郎町長

現時点では再放送できないシステムになっている。

▽小川智也議員

端末機の破損・故障・バッテリー寿命等のアフターサービスはどのようになっているのか。

▽岩﨑憲郎町長

ゆとりすと放送のアフターサービスは基本無料である。（故意による場合は原因者負担）

ゆとりすと放送

▽小川智也議員

このサービスは住民にとって非常に便利なツールある。これを最大限活用し、日常生活に役立てていくには、アフターサービスが重要になってくる。今後は定期的に回覧やゆとりすと放送で案内をすることを提案する。

QA 14

問 大豊町ホームページ管理の徹底を

答 努力する

▽小川智也議員

年・年度替わり時に、体制はスタートしているが、情報の迅速な対応が出来ていない。（仮庁舎移転に伴う立川線町民バスの運行ルートが変更等）アナログは残しつつデジタル対応していくことが必要では。

▽岩﨑憲郎町長

現在、住民サービスをペーパーレス化した状況にはない。またデジタル化が住民サービスの向上のすべてではなく、1つのアイテムとして取り組んでいくことが必要と考えている。

▽小川智也議員

高齢者が多い本町の住民への伝え方は、今までのやり方に加え、もう少し若者と高齢者を考慮し、工夫した伝え方を検討する時期である。イラスト付きのパンフレットがあれば、行政サービスが伝わるのではないか。低予算で最大限の効果を上げる伝え方を検討すべきではないか。

大豊町ホームページ

岩﨑憲郎町長

住民の皆さんとのコミュニケーションは非常に大切であり、お互いを理解するうえで行政としても努力していかなければならない。いろんな新しいアイテムを取り入れ、総合的に取り組んでいく。